

十三小学校研究推進便り

11月30日(月)、6時限目 第4回の研究授業。

5年 和の文化について調べよう

「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる」 大槻 哲也 学級

<研究授業参観に当たって>

高学年、説明文の学習です。この教材は、昨年度までの教科書にはなく新しく入ったものです。先行授業もなく、白紙の状態から単元構成、展開を考えてくださいました。指導案検討会で出たいろいろな意見も含めて、大槻先生が学級にあった形で提案していただきます。ワークシートの工夫もありますので、みんなで学びあいましょう。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

「読みの観点」の習得・活用、交流の場の工夫

- ① 筆者の説明の工夫を見つけ、自分たちの発表に生かそうとするための活動が適切であったか。
- ② 交流の場は適切であったか。

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

- ① 目標に迫るための活動として、適切であったか。

言語力・表現力を高める工夫

- ① 関連図書が生かされているか。
- ② 掲示物は適切か。

大槻先生のつぶやき>

まず、学習に向き合う姿勢から課題の多い児童に対して、どうやって気持ちを乗せていくかを考えて、とにかく視覚的に様々な和の文化を紹介しました。プレゼンテーションを見ながら、「あっこれ知ってる」「見たことある」など改めて身の回りにある和の文化についてイメージを持つことができました。

また、来年度高学年として一緒に活動をしていく4年生に対して、説明会の場を設定することで、分かりやすい説明を聞いてもらおうと児童たちは、学んだことを自分の説明に活かそうとする様子が見られています。

児童は学習に受け身になりがちで、担任が主導になっていますが、少しでも自発的に取り組めるようにしたいと考えています。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果(ピンク)」「課題(黄)」「改善策(青)」に記入してください。

今回も、3班(1グループ4~5人)に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。